

所在地

岩手県紫波郡紫波町

全校生徒数

98名

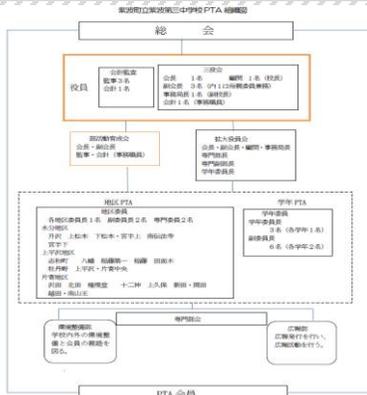
地域の特徴

紫波町は奥羽山脈と北上高地に挟まれ、中央に北上川が流れる自然の恵み豊かな約3万3千人の町。本校が位置する西部には田園風景が広がり、登山客で賑わう東根山、温泉施設、酒造施設もあり、大自然を存分に満喫できる。

学校の特徴

令和3年度、西の杜小学校と紫波第三中学校は隣接型小中一貫教育校「紫波西学園」として新たなスタートを切った。学校運営協議会も同時に設立され、地域・保護者・学校が一体となって児童生徒の健全育成にあたっている。

組織構成



担当課：岩手県教育委員会 生涯学習文化財課

対話でつながり、笑顔あふれるコミュニティ 「話・輪・和」

キーワード 地域学校協働活動 / コミュニティ・スクール / 地域人材活用

取組概要

学校と家庭、地域が連携・協働し、生徒の健やかな成長に寄与している。P T A が有機的にかかわることで、地域学校協働活動が充実している。

取り組みの詳細

☆「コミュニティの日」

地域の公民館活動にPTA地区委員が連携・協働して行う地域の活性化を目的とした活動。廃校となった小学校校舎の有効利用法や町おこし事業について、地域の大人と中学生が意見交流をする。地域の行事に積極的に参画することの楽しさや価値を発見することができる活動である。



☆「あずまねカフェ」

職業について学ぶ機会と位置付け、1年に2回、町内から20名ほどのゲストティーチャーを招き、総合的な学習の時間に開催している。生徒がゲストティーチャーにインタビューを通して、自分自身の生き方を考えるとともに、多様な考えを持つことの大切さを学ぶことができた。



☆「生徒会リサイクル活動」

PTA地区委員と生徒が協力して地域の家庭を回り、廃品を回収している。様々な方々と協力して活動することで、地域の良さを理解したり、環境問題について考えたりするきっかけづくりとなった。収益金は災害義援金や生徒会費として使用している。



成果

・地域の教育力を基盤にコミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進している。体験活動を重視した取り組みにより、生徒が地域の行事に積極的に参画し、地域の良さについて実感することができている。また、PTAの各機関において事業の見直しを行うことで、目的に合った活動や具体的な方法を検討し、実施することができた。

課題や今後の取り組み

・少子化に伴い、PTA会員数の減少が見込まれる中、組織の再編や活動のスリム化など、実態に応じたあり方を検討する必要がある。

・学校運営委員会が本格的に立ち上がり、活動を進める中、PTAがどのような形でかかわるべきかを検討する必要がある。

その他の取り組み紹介

- ・朝の挨拶運動
紫波警察署とPTAが連携・協働。
- ・「米づくり」学習支援
地域の主産業を学ぶことで産業の継承と働く意義について考える。
- ・学校報「話・輪・和」の発行を通して、PTA活動の積極的な周知を行っている。